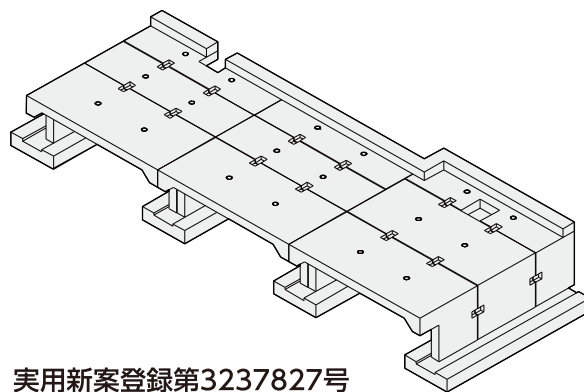


▶ プレキャスト製品化・残存型枠事例集

門形プラットホーム

九州新幹線の開業に合わせて新設された、JR九州大村線「新大村車両基地駅」のプラットホームに、門形のプレキャスト製品が採用されました。

現場作業の工数を大幅に削減すると共に、プラットホームの形状が異形であっても柔軟に対応できるプラットホーム構造体を形成できます。



実用新案登録第3237827号

実用新案権者

九州旅客鉄道株式会社

JR九州コンサルタンツ株式会社

インフラテック株式会社

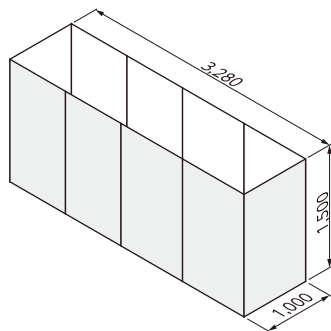


大型標識用基礎 (KCスタンドフォーム)

高規格道路の大型標識基礎の埋設型枠として「KCスタンドフォーム」を使用。

採用理由

- ・脱枠不要→作業スペース確保のための床掘りが小さく出来る。
- ・工事範囲及び通行止め範囲を最小限に抑える事が可能。



2分割ボックスカルバート

7800×2200(モルタル充填式鉄筋継手)

歩道拡幅工事にて現場打ちからプレキャスト化へ提案
国道沿いでありレベル2地震動対応。
上下の連結はモルタル充填式鉄筋継手を使用しています。



▲製品据付後



▲製品据付前



▲モルタル充填状況



▲モルタル充填後